

感動いっぱい

No.16

H26.6.30(月)

2回目の授業参観・学級懇談会

先週の金曜日は、“授業参観”と“学級懇談会”でした。どちらにも熱心に参加していただき、ありがとうございました。

道徳の授業では、『正義』について考え話し合いました。映画監督の中でも有名な“山田洋次さん”が、大人になっても忘れることができないという小1時代の追憶を題材にしました。学級一番のいじめっ子に対して本音を言う勇気がなかったこと、一番いじめられていた子がきっぱりと正直な気持ちを言ったこと、そのためにたとえようもない恥ずかしい思いをしたこと。資料を通して、子ども達は今の自分に重ね合わせながら山田さんの気持ちを考えていました。(子ども達の感想を裏面にて紹介します。)

懇談会は、「子ども達の様子」や「親子行事」について話し合いました。内容をかいつまんで紹介します。

<子ども達の様子>

- ①生活面：仲のよいクラスである。「これ以上責めてはいけない」という抑止力が働いている。就寝時刻が遅くなっていることには注意。朝方に切り替えるという方法もある。
- ②学習面：漢字コンテストは全員1回で合格。計算コンテストもがんばりたい。勉強する集団に育ってきている。

<親子行事>

教育ウィーク（11月の学校公開日）に、「ソフトバレーボール」をする。詳細は後ほど。

●計算コンテストは7/3(木)。

今日は30日。「ノーテレビ・ノーゲーム」の日です。今のところ、13人中10人が実行できています。帰宅後は、宿題はもちろん計算コンテストの練習をぜひしてほしいと思います。

計算コンテストリストの解答に、間違いを発見してくれた子がいます。「何度計算しても、解答の方が間違っていると思う。」と教えてくれました。何度も計算するくらい勉強を重ねていることがわかって嬉しくなりました。

「W満点賞をめざす！」と闘志を燃やしている子達が多いです。漢字コンテスト同様、1回で全員合格できますように。クリアするポイントは、

・帯分数は仮分数に
・計算の途中でしっかり約分
・割る数だけ逆数にして、『はかせ』で答えを仕上げるということです。

※道徳の授業の感想を紹介します。

『勇敢な少年』

私は、この勉強をして、自分に正直になることはとても大切なことだと思いました。

もしも私がおの場にいたら、右へならえをしてしまうと思います。そして、私も山田さんのように恥ずかしい思いになると思います。

私は、勇気が少ないと思います。例えば、言おうと思っていることを授業中に発表できなかつたりするときがあります。なので、少しずつ少しずつ梅沢君に近づけるようにがんばりたいです。(優実)

『正義 勇敢な少年』

わたしは、このひとつのお話で、梅沢君のあの一言で、正直なことを言わなければ、後から必ず後悔することが分かりました。また、一番いじめられていたのに、勇気を出していったのがすごいと思いました。

この四十五分間で、正直なことを言えば絶対にくいは無いと分かりました。いいことを学ばされた四十五分間でした。(美月希)

<参観された保護者の方から>

- ・自分の意見がちゃんと言えていました。それこそ、「右へならえ」のような発言になるのか と思う場面がありましたが、違う意見を言える学級なのだと分かりました。
- ・全員が発言していました。全員が発言できる学級でよいな と思いました。
- ・そのときの空気をよんで、「右へならえ」発言をするという子ども達の素直な思いが聞けてよかったです。実際、なかなかできないものだと思います。
- ・「誰かが言ったら、自分も言える。」という発言を聞いて安心しました。その誰か が大切なのだろうけれど、現時点での最善を考えることができたと思います。